

～ 2022（令和4）年度 Online 国際研修「健康危機に対応する結核対策-革新的技術を用いた保健システム構築-」に参加して～

中華人民共和国瀋陽市第十人民医院

瀋陽市胸科医院 田 瑤 (Tian Yao)

結核予防会（JATA）と結核研究所（RIT），及び JICA の皆様。

まず最初に，3週間のオンライントレーニングコースに参加する機会を与您にいただき大変ありがとうございます。「健康危機に対応する結核対策」をテーマに，レソト，タジキスタン，カンボジア，コソボ，エジプト，ブータン，モンゴル，フィリピン，中国の9か国から11名が参加しました。3週間はすぐに過ぎてしまい，お別れの際には大きな感謝と共に，まだまだ研修が続いて欲しい気持ちでした。素晴らしいオンライン研修と優秀な研修仲間にもさよならを言いたくはありませんでしたが，JICA，JATA，RITの関係者の皆様の心遣いに有難い思いで一杯です。

研修開始前に The Union（肺の健康世界会議）への参加登録を行って頂きました。会議開催中は毎日，研修担当の山田紀男先生から研修に関連する会議のセッションを紹介していただきました。

研修初日における「世界的/地域的結核の状況と COVID-19による影響」を通じて，COVID-19パンデミック時の結核対策を改めて理解する事となりましたし，研修全体を通じて COVID-19の影響に対処するだけでなく，結核対策プログラムを強化する必要があることを強く認識しました。その後，各国の参加者から国別情報と結核データが報告されました。続いて，山田紀男先生が WHO が報告した各国の結核データを研修参加者と共有して下さったことで，各国の状況を把握することができ，白熱した討議になりました。

このコースでは，まず見逃されている患者（診断されない又は報告されない患者）の問題の重大さを理解し，体系的な患者発見の重要性をより深く理解しました。結核対策では結核患者の早期発見が重要です。研修には，潜在性結核感染症予防治療，結核診断の最新情報，迅速検査，胸部 X 線（CXR）および ALCAD（人工知能を活用して異常を検出するシステム）による結核スクリーニングも含まれています。

コースの内容は豊富で，私は多くの学びを得ました。学習の過程で，日本の結核対策の仕組み，新宿区の結核対策活動など，日本の結核対策についても教えて頂きました。日本の DOTS 戦略実施の真剣さと結核対策プログラムの明確な構造に驚かされました。

研修における学習のみならず，JATA や RIT のスタッフによるサポートにも助けられました。中国にいるため，学習教材によっては直接アクセス出来ないものもありましたが，メールや Zoom を利用した事前学習への RIT スタッフの迅速な協力で他の研修生と同様に学習する事が出来ました。私の最終提案について御指導下さった小野崎郁史先生と山田紀男先生に深く感謝申し上げます。お二人共，私に対してとても実用的なアドバイスを頂きましたこと，本当に感謝しております。

12月6日午後にオンライン研修が終了しました。御指導下さった先生方からは暖かいお気持ちを頂きましたが，そんな雰囲気の中で良い思い出が沢山積み重なり Zoom が閉まって終了してしまうのは寂しかったです。楽しい時間はいつも早く過ぎてしまうものです。私はこの研修で多くのことを学ばせて頂きましたし，私の専門知識と英語レベルを向上させ，且つ諸外国の結核対策状況の理解に繋がりました。自国の結核対策の長所と短所を理解しているつもりですし，今後の仕事において更なる尽力を続けたいと思います。

このような貴重なオンライン学習の機会を得られた事に改めて感謝しつつ，各講師の先生方の御尽力と日本側の全ての熱心な関係者の方々に対して「有難うございました」とお伝えしたいと思います。今回の経験は私の人生において最高の思い出となりそうです。将来また集まれる機会を楽しみにしつつ。🍵